

## 令和6年度第1回 頓原デイサービスセンター運営推進会議

日時 令和6年10月30日(水)午後2時～

場所 愛寿園会議室

出席者:

1、あいさつ

2、デイサービスセンター活動報告

3、意見交換

次回開催予定 3月

令和6年度第1回  
運営推進会議資料

頓原デイサービスセンター

## 利用料金

### 通所型サービス

(要支援1 月4回 要支援2 月8回の利用の場合)

(1ヶ月あたり)

	負担金	食事代	おやつ代	合計
要支援1	1,986円	2,320円	200円	4,506円
要支援2	3,999円	4,640円	400円	9,039円

※上記金額は1割負担対象の方です。

※食事1食580円、おやつ代1日50円、時間延長なし。

### 地域密着型通所介護

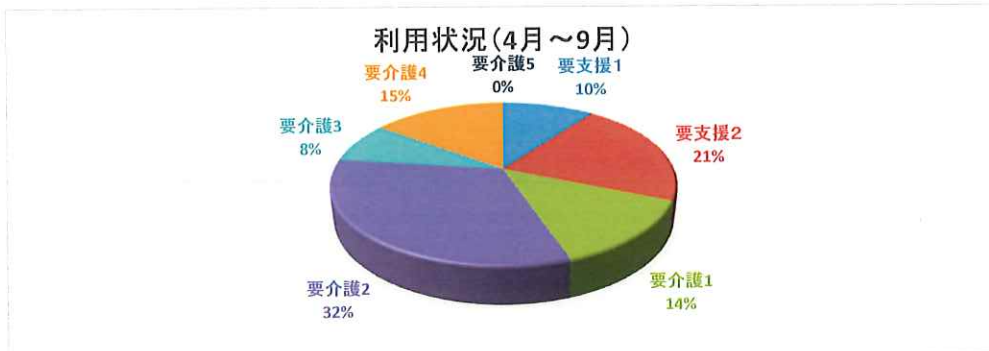
(1日あたり)

	負担金	食事代	おやつ代	合計
要介護1	948円	580円	50円	1,578円
要介護2	1,098円	580円	50円	1,728円
要介護3	1,252円	580円	50円	1,882円
要介護4	1,405円	580円	50円	2,035円
要介護5	1,558円	580円	50円	2,188円

サービス提供体制加算 6単位 入浴介助加算 55単位 個別機能訓練加算 56単位 介護職員処遇改善加算Ⅱ(加算率9.0%)を含む。

※上記金額は1割負担対象の方です。

利用状況 (4月～9月)契約者数 52名 男15名 女37名 平均介護度 1.76 平均年齢 86.2歳



	利用延べ人数	営業日数	1日の利用人数	利用率
4月	328	26	12.62	70%
5月	349	27	12.93	72%
6月	328	25	13.12	73%
7月	365	27	13.52	75%
8月	303	27	11.22	62%
9月	309	25	12.36	69%
		平均人数	12.63	

## 職員体制

管理者1名(生活相談員兼務)

生活相談員1名(うち1名兼務職員)

介護職員4名(うち1名兼務職員)(うち介護福祉士資格者1名)

看護職員2名

機能訓練指導員(理学療法士)1名

その他の職員

## 主な活動実施状況

月	行事名	職員研修
4月	花見(掛合)ドライブ(大和)	感染対策訓練
5月	ポタン見学(赤名)ドライブ(三瓶)	事故防止研修
6月		認知症対応研修・口腔管理衛生研修
7月		高齢者虐待防止・身体拘束防止研修
8月		ハラスメント防止研修
9月		高齢者虐待防止・身体拘束防止研修
10月	コスモス見学(志津見)	

※定期行事として作品作り、カレンダー作りを実施

## 介護保険外サービス状況

・おむつの販売

11名利用 74個(9月末)

## リスクマネジメント状況

### 事故報告①

発見・発生場所	デイサービストイレ
発見・発生時の状況	杖歩行でトイレに行かれる。(通常、杖歩行は自立で、遠目で見守りのみ) 少しして様子を見に行くと、トイレの床(カーテンの前)に座っておられるのを発見する。 ご本人は滑って転んだと話される。左の臀部に痛みがあるため車椅子に座ってもらう。
処理・処置	外傷の有無を確認するが見た目に異常なし。 痛みが強いため飯南病院に受診する。 レントゲンの結果、左大腿骨頸部骨折の診断。 入院され保存的治療を選択される。(手術はしない)
要因分析	普段から継続的な見守りや介助の必要のない方だったので付添いをしていなかった。 帰宅前になると気分的にあわたしくなり、転倒につながった可能性がある。
今後の対応	自立している方でも、帰宅前は心理的にあわたしくなっていることも考え、見守りを強化する。 ただしトイレなどはプライベートスペースになるので過度にならないように配慮も必要になってくる。

# 介護予防事業所 にじいろ

## サービス内容

- ・介護予防事業所にじいろは、体操と予防活動(買い物等)を組み合わせた事業です。  
(体操) (買い物)



## 利用回数、利用料金

- ①月4回利用 (火曜日、木曜日)
- ②料金 1割負担 月1,493円  
おやつ代 1日30円  
安田先生

## 赤名ボタン園



## ハーモニカ

## 魚釣り



## やまなみ食事会

## 防犯研修



9月末現在 14名利用(女性)  
要支援1 2名 事業対象者 12名

## デイサービス事業についての職員評価

### 活動の効果

・皆さんデイサービスに来られることを楽しみにしておられるご様子です。職員やご利用者様同士でのお話、レクリエーション、リハビリ体操などご家庭ではなかなかできない活動を喜ばれています。何よりも、皆さんでワイワイ賑やかに過ごしていただくことで、気分も晴れやかになられるようで、活気が感じられます。楽しみながら行えたり、モチベーションが上がることで、身体活動も活発となり、体力向上にも効果があると思われます。

### 課題

・一人一人ADLや認知機能に差があり、できる活動を考えながら行っておりますが、全ての方に上手く合ったものとはなりません。日によっては頭の体操が苦手な方が多くおられる日があり難しいことがあります。

・職員がレクリエーションをはじめ、様々な活動を考案しながら行っておりますが、お一人お一人ADLや認知機能に差があるため、全ての方にマッチしたものとはなりづらいです。



## 第1回頓原デイサービスセンター運営推進会議会議録

開催日	令和6年10月30日(水)	開催時間	14:00～15:00	記録	倉橋直之
参加者	K様(地域包括支援センター) I様(地域住民代表) Y様(家族代表)、O様(家族代表) 光田(事務長)、倉橋(生活相談員)				
議題	1、頓原デイサービスセンター、にじいろの活動報告 2、デイサービスセンター事業計画 3、意見交換				
会議内容	<p>1、<u>頓原デイサービスセンター活動報告</u> 別紙 運営推進会議資料にて報告</p> <p>2、<u>頓原デイサービスセンター事業計画報告</u> 別紙 運営推進会議資料にて報告</p> <p>デイサービスでの活動見学を行う</p> <p>参加者との意見交換と質問対応</p> <p>事業所: 独居のご利用者の方で、朝のお迎えに伺った際に心肺停止状態になっておられた。後日、包括支援センターからの報告で、デイサービス職員の対応について、適切に対処してもらいとても感謝しているとのことであった。</p> <p>家族代表: 「今まで家族の介護は他人事だと思っていたが、実際にするようになり大変さを痛感している。認知症状が徐々に進行し介護の負担も増している。」と相談あり。 事業所: 実際の介護は苦勞することが多く、介護者が疲弊してはよい介護ができない。頑張りすぎないようにし、ケアマネ等と相談しながら適切にサービスを利用されるといい。具体的な認知症対応等は、デイサービス職員にも相談していただくとよい。</p> <p>家族代表: 自宅では入浴をしていないのでデイサービスで入浴してほしい。 事業所: デイサービスでは気持ちよく入浴されている様子。これから寒くもなり、ご利用回数の増回も可能でご相談いただきたい。</p> <p>住民代表: 昔と今では利用者の総数はどうなっているのか。 事業所: ご利用者総数は減ってきている。主な原因の一つに地域の人口減少が考えられる。また、昔と比べて介護予防の活動・意識も高くなっている。今後も減少傾向と考えられる。</p> <p>事業所: (事故報告の内容から) 家族と事業所とで介助や対応の思い違いがあった。担当者や送迎時等に、介助方法やご家族のご意向をしっかりと確認することを再度心掛ける。</p> <p>住民代表: デイサービスではどのような活動を行っているか。他の事業者では公民館と共同でミニ陶芸教室を行っていた。 事業所: 活動報告でお伝えした通り。集団でのレクリエーションは飽きが来ないように、いろいろと工夫をしている。今まで外部機関・講師等と共同した活動はほとんどなかったのも、今後検討してみる。よいアイデアがあれば是非ご紹介いただきたい。</p>				
次回開催予定	令和7年3月				